

(注)本資料は次期総合計画の構成イメージ  
(令和4年8月9日時点)を示すため作成した  
ものであり、記述内容は確定事項ではありませ  
んのので何卒ご留意願います。

# 第6次川西市総合計画

(イメージ)

令和6(2024)年度～令和13(2031)年度

# 目次

(注) 内容は全て仮です。

## 第1章 まちのめざす姿と方向性

### 基本構想

川西がめざす、未来の姿を示しています。

- 1 市の未来像(将来都市像)
- 2 未来像の根底にある思い
- 3 「総合計画」策定の目的と役割 3層構造・期間の説明

## 第2章 市の現状と展望(2032年に向けて)

### 基本計画

2032年の未来について考えるため、市の現状や社会の潮流を示しています。

- 1 市の現状(川西市ってこんなまち)
- 2 今後予測される社会情勢・潮流の変化
- 3 未来像の達成に向けたまちづくり指標

## 第3章 分野別の未来像

市の未来像に基づき、市政運営の基本方針を示しています。

- 1 未来像に向かって伸びる、5つの柱
- 2 地方版まち・ひと・しごと創生総合戦略
- 3 市政運営の基本姿勢

## 第4章 資料編

- 1 データ集
- 2 SDGsとの関係
- 3 策定のあゆみ
- 4 用語集

# 第1章

## めざすまちの姿と方向性

### (基本構想)

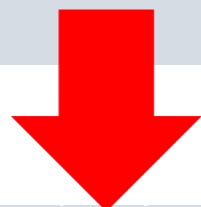
川西市がめざす、未来の姿を示しています。

## 1 市の未来像(将来都市像)

### まちの未来像

(注)便宜上、第5次総合計画の将来都市像を当てはめています。

であい ふれあい ささえあい  
かがやきつなぐまち



(注)内容は全て仮です。

川西にずっと住んでいる人、引っ越してきた人、最近ここで生まれた人。  
すべての市民にとって居心地のよいまちをめざして、私たちは次の視点で  
まちづくりに取り組みます。

### 未来像に向かって伸びる、5つの柱

柱

施策分野

〇〇できる、心地よさ

福祉・介護  
医療・健康  
コミュニティ・地縁

できる、心地よさ

防犯・防災  
都市基盤(道路・上下水・)  
みどり・公園  
環境・衛生

できる、心地よさ

子ども、子育て支援  
学校教育  
生涯学習

できる、心地よさ

産業振興  
文化・観光・スポーツ  
農業

効率的で効果的なマネジメント  
(DXの推進など)

共通で  
必要な視点

## 2 未来像の根底にある思い

### 未来像の根底にある思い(行動指針)

「策定方針」から引用しています。

#### (1)子どもが幸せな社会を形成します

「子どもが幸せな社会は、みんなが幸せな社会」という考えのもとに、子どもに関する政策からスタートさせることで、市民が幸せを感じるまちをめざします。

#### (2)困難を抱える市民に寄り添います

個人だけで抱えるべきではない課題に直面しながら声を出せない人や、助けを求められない人に寄り添い、みんなが幸せになるための後押しをします。

#### (3)多様性が当たり前になる社会をめざします

「声が出せない」背景のひとつとして多様性が認められていないことがあると考えることから、人々が多様性を認めあえる社会をめざします。

#### (4)何気ない日常生活の幸せを増やしていきます

市民一人ひとりが、日常生活の中で幸せを感じる時間や景色を増やします。そのために、「一人ひとりに居場所があること」「誰かに、必要とされる存在であること」「自らが意思決定できる環境であること」を大切にします。

#### (5)持続可能な社会の構築を進めます

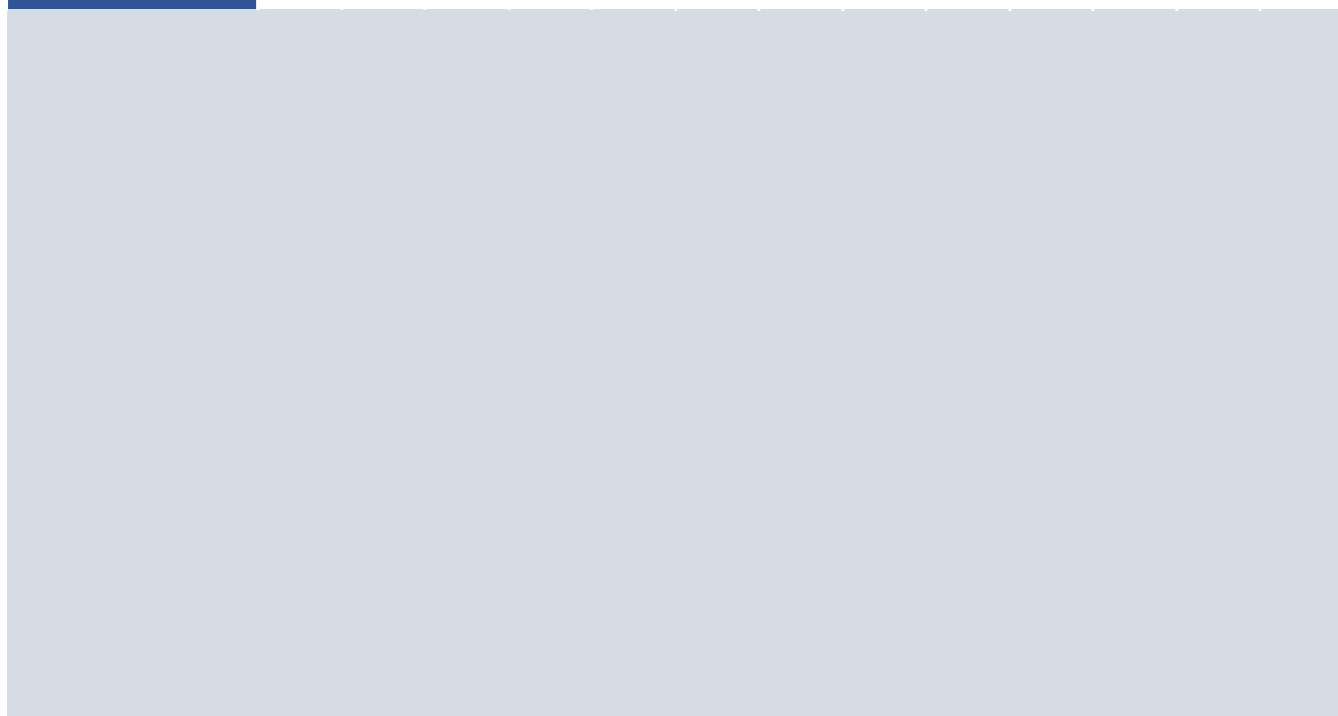
人口増加を目的とするのではなく、市の現状を見直し、人口減少を踏まえた社会の形に変えていきます。今後のまちのあり方や負担のあり方を見直し、持続可能な社会を構築します。

#### (6)一人ひとりがまちづくりのプレイヤーとして活躍できる舞台をつくれます

川西市に関わり、まちに愛着をもつ市民が増えるようなまちづくりを進めます。市民一人ひとりが川西市のことや地域のことを「自分事」として捉え、自治をはぐくむための取組を進めるための支援を行います。また、人と人が出会える場や、やりたいことを後押しできる方法を見つけるための場(プラットフォーム)を設けます。

### 3 「総合計画」策定の目的と、役割

#### 策定の目的



#### 計画の期間

「策定方針」から引用しています。



計画期間中に社会情勢が大きく変化した場合は、見直しを検討します。

**(注) 内容は全て仮です。**

#### 計画の構成

